

令和 7 年度 学校経営計画及び学校評価

<めざす学校像>

1 女子だけの通信制高校として、安心して学べる環境を整える

女子だけの落ち着いた環境の中で、週 2 日登校を基本とし、授業を午後から行う本校の学習スタイルを生かして、生徒一人ひとりが安心して学校生活を送ることができる学校を目指します。通信制・単位制の仕組みを適切に活用するとともに、スクーリング、課題レポート、ICT を活用した学習を通して、高等学校卒業に必要な学習に着実に取り組むことができる環境を整えます。

2 規律ある校風のもと、静かな授業と落ち着いた学校生活を大切にする

学校指定の制服の着用、授業中の私語を固く禁止することなど、学校生活に必要なルールを明確にし、生徒が学習に集中できる環境を整えます。規律を大切にするすることで、生徒がお互いを尊重し、落ち着いて学校生活を送ることができる学校づくりを進めます。

3 一人ひとりの状況を把握し、学習と学校生活の継続を支える

対面、電話、メール、Google チャットなど複数の相談方法を設け、生徒が相談しやすい環境を整えます。学習状況、登校状況、生活面などを継続的に把握し、必要に応じて教職員から声をかけることで、支援が必要な生徒を早期に把握します。また、必要に応じてスクールカウンセラーや関係機関と連携し、学校全体で生徒を支える体制の充実を図ります。

4 基礎学力の定着を図り、学ぶ意欲を育てる

スクーリングや課題レポート、個別の学習相談などを通して、基礎学力の定着を図ります。授業では、学習の目標や大切なポイントを分かりやすく示し、教材や ICT を活用しながら、生徒が学習内容を理解し、知識や技能を身につけることができる授業づくりを進めます。

5 一人ひとりの希望に応じた進路実現を支援する

大学、短期大学、専門学校、就職など、生徒一人ひとりの進路希望を早期に把握し、継続的な進路指導を行います。進路説明会や個別相談に加え、大学進学希望者には面接、小論文、志望理由書等の個別指導を行うなど、それぞれの進路に応じた支援を充実させます。生徒が自ら将来を考え、希望する進路の実現に向けて取り組むことができる力を育てます。

6 多様な体験を通して、生徒の興味・関心を広げる

学校行事や特別活動、校外学習等を通して、日常の学習だけでは得られない経験の機会を設けます。文化、芸術、社会、進路などさまざまな分野に触れることで、生徒が新たな興味や関心を持ち、学校生活や将来について考えるきっかけとなる活動を充実させます。

<中期的目標>

1 一人ひとりに寄り添う学習・生活・教育相談体制の強化

(ア) 生徒および保護者との面談の充実

原則として前期・後期に三者面談を実施し、生徒一人ひとりの学習状況、登校状況、生活状況、進路希望等を把握します。面談で確認した内容をその後の学習支援や生活支援、進路指導につなげ、継続的に生徒の状況を確認します。

(イ) 相談しやすい環境の整備

対面相談に加え、Google チャット、メール、電話など、複数の相談方法を設けます。自分から職員室を訪ねたり相談したりすることが難しい生徒についても、必要に応じて教職員から声をかけるなど、相談の機会につながるよう取り組みます。

(ウ) 教職員間の情報共有の充実

生徒支援に必要な情報について、個人情報の取扱いに十分配慮しながら、関係する教職員間で適切に共有します。学習状況、登校状況、面談内容、相談内容等を整理し、必要な支援について学校全体で検討できる体制を整えます。

(エ) スクールカウンセラーおよび関係機関との連携

教職員だけでは対応が難しい課題については、必要に応じてスクールカウンセラーや関係機関と連携します。生徒や保護者の状況を踏まえ、専門的な助言を受けたり、適切な支援機関につないだりすることができる体制を整えます。

2 基礎学力の定着と学習支援の充実

(ア) スクーリングの充実

スクーリングでは、授業の目標や大切なポイントを分かりやすく示し、生徒が学習内容を理解しやすい授業づくりに取り組みます。生徒の理解度を確認しながら、教材や ICT を適切に活用し、必要に応じて補足説明や個別の学習支援を行います。

(イ) 課題レポート・視聴レポートへの支援

課題レポートや視聴レポートについて、分かりやすく丁寧な添削指導を行います。提出状況や学習状況を確認し、遅れが見られる生徒や理解が十分でない生徒については、個別の声かけや学習相談につなげます。

(ウ) ICT を活用した学習支援

学習管理システム（e-Portal）等を活用し、課題レポートの作成・提出状況やスクーリングの出席状況を確認しやすい環境を整えます。また、必要に応じてデジタル教材等を活用し、基礎学力の定着や学び直しを支援します。

(エ) 自習・学習相談環境の充実

午前中や授業のない時間帯にも、自習室等を利用して学習できる環境を整えます。教職員への質問や学習相談の機会を設け、生徒が授業や課題レポートで分からない内容を確認できるよう支援します。

3 進路サポートの強化

(ア) 進路希望の早期把握

進路希望調査を計画的に実施し、生徒一人ひとりの希望や検討状況を把握します。調査結果をもとに、必要な情報提供や個別相談を行い、早い段階から進路について考える機会を設けます。

(イ) 継続的な進路指導

大学、短期大学、専門学校、就職等について、進路説明会や個別相談を計画的に実施します。生徒および保護者に進路選択に必要な情報を分かりやすく提供し、生徒が自ら進路を考え、準備を進めることができるよう支援します。

(ウ) 大学進学支援の充実

大学進学希望者に対し、総合型選抜、学校推薦型選抜、指定校推薦入試、一般選抜等、それぞれの入試方法に応じた指導を行います。面接、小論文、志望理由書等について個別指導を行い、生徒の希望する進路の実現を支援します。

(エ) 多様な進路への支援

大学進学だけでなく、短期大学、専門学校、就職等を希望する生徒についても、必要な情報提供や個別相談を行います。生徒が自らの適性や希望を考えながら進路を選択できるよう、多様な進路情報を提供します。

(オ) 大学等との連携と進路情報の充実

大学等による講話や進路に関する情報提供など、外部との連携を進めます。卒業生の進路状況についても把握に努め、得られた情報を在校生への進路指導に活用します。

4 学校行事・特別活動等を通じた生徒の成長支援

(ア) 特別活動の充実

文化、芸術、社会、進路などさまざまな分野の特別活動を計画的に実施し、生徒が新たな興味や関心を持つ機会を設けます。

(イ) 校外学習等の実施

芸術鑑賞や社会体験など、校外で学ぶ機会を設け、日常のスクーリングだけでは得られない体験につなげます。

(ウ) 分かりやすい情報提供

学校行事や特別活動について、年間予定や実施内容、申込方法等をできるだけ早く、分かりやすく案内します。生徒が内容を十分に理解したうえで参加を検討できるよう、情報提供の充実を図ります。

5 教職員が働きやすい環境の整備と教育力の向上

(ア) 業務の見える化と適切な役割分担

教職員の担当業務や進捗状況を共有し、特定の教職員に業務が過度に集中しないよう、業務分担の見直しを行います。業務の共有化を進め、担当者が不在の場合にも必要な対応ができる体制を整えます。

(イ) 教職員間の情報共有と連携

会議やミーティング等を通して、管理職と教職員、教職員相互の情報共有を図ります。

生徒の状況や学校運営上の課題を共有し、必要に応じて互いに協力できる職場環境を整えます。

(ウ) 校内研修の充実

生徒理解、授業改善、生徒支援等について校内研修を実施し、教職員一人ひとりの指導力や生徒対応力の向上を図ります。研修で得た知識や情報を学校全体で共有し、教育活動の改善につなげます。

(エ) 安定した教育活動につながる職場環境の整備

教職員の意見を踏まえながら、業務内容や職場環境について必要な見直しを行います。

教職員が安定して教育活動に取り組むことができる環境を整えることで、生徒への継続的で質の高い支援につなげます。

6 女子だけの通信制高校としての特色を生かした情報発信

(ア) 本校の教育方針と特色を正確に伝える

女子だけの通信制高校であること、週2日登校を基本としていること、授業が午後から始まること、制服を着用すること、規律ある校風や静かな授業を大切にしていることなど、本校の教育方針と学校生活を分かりやすく発信します。進路指導や学校生活の支援についても具体的に伝え、入学後の学校生活を正しく理解したうえで学校を選択できる情報提供に努めます。

(イ) Web サイトおよび SNS による情報発信

Web サイトや SNS を活用し、授業、学校生活、学校行事、進路指導、入試等について継続的に情報を発信します。学校の特色や教育方針について正確で分かりやすい情報を提供し、本校について理解を深めてもらえるよう努めます。

(ウ) 学校見学＆個別相談の充実

学校見学・個別相談は一組ずつ実施し、生徒および保護者の状況や相談内容に応じて丁寧に説明します。授業や校内の様子を実際に見てもらうことで、本校の教育方針、校則、学習方法、学校生活等について十分に理解したうえで進路を検討できるよう努めます。

(エ) 中学校および外部相談会での情報提供

中学校への訪問や資料提供、外部合同相談会への参加を通して、本校の特色や教育内容を正確に伝えます。中学校の教職員や生徒、保護者に対し、本校がどのような学校であるかを分かりやすく伝え、必要に応じて学校見学＆個別相談につなげます。

<自己評価アンケートの結果と分析>

令和8年8月日実施

生徒・保護者アンケート：全校生徒396名対象に実施、回答率83.3%

令和8年度 学校生活・学習指導に関するアンケート集計結果 (8月実施、生徒数396名、回収率83.3%)	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
①本校の進路指導（進学・就職）は、一人ひとりに対応して適切に行われている。	75.2%	21.2%	2.4%	1.2%
②校内での教職員の対応は親切・ていねいで、さまざまなことを相談しやすい。	74.2%	21.9%	2.4%	1.5%
③校内の清掃は行き届いている。	90.6%	7.3%	1.2%	0.9%
④本校は通信制高校としての設備が充実している。	83.9%	12.1%	2.7%	1.2%
⑤本校の特別活動・学校行事は充実している。	80.6%	15.2%	2.4%	1.8%
⑥規定回数のスクーリングに出席できた（期限までの視聴レポート提出を含む）。	91.5%	4.9%	1.8%	1.8%
⑦すべての課題レポートを提出して、期限までに合格点を取ることができた。	88.2%	7.2%	2.5%	2.1%
⑧スクーリングの進捗や難易度は、自分にとって適切である。	71.3%	20.7%	6.4%	1.6%
⑨毎回のスクーリングの最初に、先生は本日の目標や大切なポイントを説明してくれる。	77.4%	18.7%	2.0%	1.9%
⑩スクーリングでの先生の指示や説明は、聞き取りやすく、わかりやすい。	79.9%	14.7%	3.4%	2.0%
⑪先生は様々な教材をうまく使いながらスクーリングを進めている。	82.5%	13.7%	2.0%	1.7%
⑫課題レポート・視聴レポートの添削指導は、ていねいでわかりやすい。	76.6%	17.6%	4.5%	1.3%
⑬スクーリングや課題レポートを通して、学習科目に興味・関心を持つことができたと感じている。	59.8%	30.1%	7.7%	2.5%
⑭スクーリングや課題レポートを通して、学習科目の知識や技能が身についたと感じている。	63.0%	29.0%	6.4%	1.6%

【分析概要】

1 進路指導および相談体制について

進路指導については、「本校の進路指導（進学・就職）は、一人ひとりに対応して適切に行われている」とする肯定的な回答が96%を超えており、生徒の進路希望に応じた個別の支援について高い評価が得られました。また、「校内での教職員の対応は親切・ていねいで、さまざまなことを相談しやすい」についても、肯定的な回答が96%を超えており、日常的な相談体制についても、おおむね良好な評価となっています。今後も、生徒が進路や学校生活について相談しやすい環境を維持するとともに、自分から相談することが難しい生徒にも必要な支援が届くよう、教職員からの声かけや情報提供を継続していく必要があります。

2 校内環境および学校生活について

校内環境については、「校内の清掃は行き届いている」で約98%、「通信制高校としての設備が充実している」で96%の肯定的な回答が得られました。校内の清潔さや設備面について、生徒から高い評価を得ていることが確認できました。また、「特別活動・学校行事は充実している」についても約96%が肯定的な回答となっており、通常の学習だけでなく、学校行事や特別活動についても一定の満足が得られていると考えられます。今後も、生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、校内環境や設備の維持・改善に取り組むとともに、特別活動や学校行事についても、生徒の参加状況や意見を確認しながら内容の充実を図る必要があります。

3 スクーリングへの出席および課題レポートへの取組について

「規定回数のスクーリングに出席できた（期限までの視聴レポート提出を含む）」については約96%、「すべての課題レポートを提出し、期限までに合格点を取ることができた」についても95%を超える肯定的な回答が得られました。多くの生徒が、スクーリングへの出席や課題レポートの提出に計画的に取り組むことができていることがうかがえます。一方で、一定数の生徒はスクーリングへの出席や課題レポートへの取組に困難を感じていることも確認できます。今後も、出席状況や課題レポートの提出状況を早期に把握し、遅れが見られる生徒に対しては、個別の声かけや学習相談などを通じて早めに支援していく必要があります。

4 スクーリングの内容および授業の分かりやすさについて

スクーリングについては、「毎回のスクーリングの最初に、先生が本日の目標や大切なポイントを説明してくれる」で約96%、「先生の指示や説明は、聞き取りやすく、わかりやすい」で約95%の肯定的な回答が得られました。また、「先生は様々な教材をうまく使いながらスクーリングを進めている」についても96%を超えており、授業の進め方や教材の活用について高い評価となっています。一方、「スクーリングの進度や難易度は、自分にとって適切である」については、肯定的な回答は92%と高い水準ではあるものの、他の授業関連項目と比較すると否定的な回答がやや多く見られました。生徒によって基礎学力や理解度には違いがあることから、今後も授業内容や進度を確認しながら、必要に応じて補足説明や個別の学習支援を行い、生徒が理解しやすい授業づくりに取り組む必要があります。

5 課題レポート・視聴レポートへの学習支援について

「課題レポート・視聴レポートの添削指導は、ていねいでわかりやすい」については94%を超える肯定的な回答が得られており、添削を通じた学習支援について、おおむね良好な評価となっています。

課題レポートや視聴レポートは、通信制高校における学習の重要な部分であるため、単に合格するための指導にとどまらず、生徒が学習内容を理解し、次の学習につなげられるような添削指導を今後も継続する必要があります。また、理解が十分でない生徒や課題への取組に時間を要する生徒については、添削だけでなく、必要に応じて個別の説明や学習相談につなげるなど、より丁寧な支援を行うことが求められます。

6 学習への興味・関心および学習成果について

「スクーリングや課題レポートを通して、学習科目に興味・関心を持つことができた」については約90%、「学習科目の知識や技能が身についたと感じている」については92%が肯定的な回答となりました。いずれも高い評価ではありますが、他の項目と比較すると肯定的な回答の割合はやや低く、特に「学習科目に興味・関心を持つことができた」については、約10%の生徒が否定的な回答をしています。スクーリングへの出席や課題レポートの提出といった学習行動については高い達成状況が確認できる一方で、その学習を「興味・関心」や「知識・技能の定着」へどのようにつなげていくかが、今後の課題の一つであると考えられます。今後は、授業内容と日常生活や進路とのつながりを意識した説明、教材の工夫、生徒が学んだことを実感できる授業づくりなどを通じて、学習への興味・関心を高め、知識や技能のさらなる定着につなげていく必要があります。

<学校関係者評価委員会からの意見>

令和8年8月21日委員会開催

1 進路指導および相談体制について

進路指導について、生徒一人ひとりの希望や状況に応じた個別の対応が行われており、生徒からも高い評価を得ている点は評価できるとの意見がありました。また、教職員の対応についても、相談しやすい環境づくりが進められているとの評価をいただきました。今後も、生徒が進路や学校生活について安心して相談できる体制を維持するとともに、自分から相談することが難しい生徒に対しても、学校から適切に声をかけ、必要な支援につなげていくことが期待されます。

2 校内環境および学校生活について

校内の清掃や設備について、生徒から非常に高い評価が得られており、日頃から良好な学習環境の維持に努めていることが評価されました。特別活動や学校行事についても、多くの生徒が充実していると感じていることは、学校生活の充実につながっているとの意見がありました。今後も、生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、校内環境や設備の維持・改善を継続するとともに、生徒の意見も取り入れながら学校生活のさらなる充実を図ることが望まれます。

3 スクーリングへの出席および課題レポートへの取組について

規定回数のスクーリングへの出席や課題レポートの提出について、多くの生徒が計画的に取り組むことができおり、学校による学習管理や支援が適切に行われているとの評価をいただきました。一方で、少数ではあるものの、スクーリングへの出席や課題レポートへの取組に困難を感じている生徒もいることから、学習状況を早期に把握し、必要に応じて個別に支援する現在の取組を継続することが重要であるとの意見がありました。

4 スクーリングの内容および授業の分かりやすさについて

スクーリングにおける教員の説明や指示、教材の活用について、生徒から高い評価を得ており、分かりやすい授業づくりに取り組んでいる点が評価されました。特に、授業の最初に目標や重要なポイントを示していることは、生徒が学習内容を理解するうえで有効であるとの意見がありました。一方で、生徒によって学習の理解度や適切と感じる進度には差があるため、今後も生徒の反応や理解度を確認しながら、必要に応じて補足説明や個別の学習支援を行うことが期待されます。

5 課題レポート・視聴レポートへの学習支援について

課題レポートや視聴レポートの添削指導について、おおむね丁寧で分かりやすいとの評価が得られており、通信制高校における学習支援として適切に取り組まれているとの意見をいただきました。今後も、添削を通して生徒が誤りを確認するだけでなく、学習内容への理解をさらに深めることができるよう、必要に応じて個別の説明や学習相談につなげるなど、きめ細かな支援を継続することが望まれます。

6 学習への興味・関心および学習成果について

スクーリングや課題レポートを通して、多くの生徒が学習科目の知識や技能が身についたと感じていることは評価できるとの意見がありました。また、学習への興味・関心についても全体として高い評価となっており、教育活動が一定の成果につながっていると認められました。一方で、他の評価項目と比較すると、学習科目への興味・関心や知識・技能の定着に関する評価はやや低い傾向も見られることから、今後は、生徒が学ぶ意味や学習内容と将来とのつながりをより実感できる授業づくりを進めることが期待されます。

まとめ

学校関係者評価委員会からは、今回の生徒アンケート結果について、学校生活、学習支援、進路指導、相談体制のいずれについても全体として高い評価が得られており、学校の取組がおおむね適切に行われているとの評価をいただきました。特に、教職員への相談のしやすさ、進路指導、校内環境、スクーリングへの出席や課題レポートへの取組については、日頃の学校の取組が生徒の安心した学校生活や学習の継続につながっているとの意見がありました。今後については、現在の取組を継続するとともに、学習への興味・関心や知識・技能の定着をさらに高め、生徒が学習の成果を実感できる教育活動を充実させていくことが期待されます。